

2025 年度 世界遺産学学位プログラム博士(前期)公開発表会
2026 年1月15 日(木) 9:45~16:00
筑波大学筑波キャンパス人文社会学系棟 B218 室

1. 牧 結穂 9:45~10:02
『長崎における宗教ツーリズムの展開に関する研究－世界文化遺産「長崎と天草地
方の潜伏キリシタン関連遺産」にみる観光と巡礼の交錯－』
2. 万 鄧建 10:02~10:19
『中国景德鎮市における瑶里鎮の文化遺産としての特徴と評価に関する研究』
3. 松崎 由貴 10:19~10:36
『古民家における解体後の古材の保存・活用に関する課題』
4. 李 佳書 10:36~10:53
『遺跡に描かれた落書きの科学的分析とその価値への考察:東京湾要塞跡
(猿島砲台跡)を例として』
5. 井川 真歩 10:53~11:10
『日本における災害遺構を中核とした空間整備の現状と課題』

【★休憩 11:10~11:20】

6. Yuliia Kharovska 11:20~11:37
『Adaptive Reuse and Preservation Balance in Kurazukuri
Architecture of Kawagoe 』
7. 鄭 鴻鵬 11:37~11:54
『SNS におけるショート動画を通じた主体ごとの延辺朝鮮族文化観光発信に
関する研究－中国朝鮮族民俗園と金達萊民俗村の比較より－』
8. 中野 実歩 11:54~12:11
『地域に残る紙資料の保管に使用される段ボール箱の性質とその影響』
9. GAO LUYAO 12:11~12:28
『都市生活文化としての銭湯に関する文化遺産学的研究－「有形」と「無形」の
視点に注目して－』

【★休憩 12:28~13:30】

10. Sun Patricia 13:30~13:47
『The Evolution of “Authenticity” in the World Heritage System:
From Nara to Nairobi 』

11. 向笠 陽介 13:47~14:04
『越前和紙産地における伝統工芸産業継承の支援構造に関する研究 』

12. 許 雪瑩 14:04~14:21
『明治日本の産業革命遺産におけるインタープリテーションの分析—
ビジターセンター展示とデジタル技術の現状を中心に —』

13. Nadira rosa 14:21~14:38
『The Persisting Cultural Fusion of Chinese and Javanese
Cultures in Surakarta, Indonesia』

【★休憩 14:38~14:45】

14. LIU YINAN 14:45~15:02
『礼拝空間に生じるススが銅や木材に与える影響』

15. 董 紫涵 15:02~15:19
『空き家プロジェクトにおける文化活動 NPO が地域再生に与える影響
—ドイツ・ライプツィヒ市の Eisenbahnstraße における「日本の家」に注目して—』

16. 安野 花菜 15:19~15:36
『日本製マジョリカタイルの空間的配置と地域的特性
—近代日本と日本統治期の台湾に注目して—』

17. YANG ANQI 15:36~15:53
『アメリカから越境した古着文化の日本での受容と展開に関する文化遺産学的研究
—下北沢における古着文化の継承と創造行為に注目して—』